

第1回沖縄防災連絡会の要旨

1. 日時

平成24年11月20日（火）15：00～16：45

2. 場所

内閣府 沖縄総合事務局 災害対策室（2F）（那覇第2地方合同庁舎2号館）

3. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

4. 議事次第

別紙 議事次第のとおり

5. 要旨

（1）内閣府 沖縄総合事務局長挨拶（概要）

初めに、昨年の3.11の大震災で得られた教訓については決して風化させてはならない。沖縄地方においても、かつて、明和の大津波が石垣島を中心に大きな被害をもたらした記録も残っている。また、沖縄では台風被害もあり、今年は33万世帯を超える大規模停電も経験した。沖縄は島しょ県ということもあり、いざという時には、まず、海・空路の確保が必要になる。先の台風被害においても離島視察の際に実感を大きくした。

沖縄総合事務局は、沖縄の振興について国の立場で取り組んでおり道路・港湾・空港等物の流れ、人の流れを支える社会資本整備、電力・石油・ガスの供給、運輸、物流等を総合的に担っている。万一、大規模な自然災害が発生した場合、県民のくらしの安全・安心、事業環境の継続の確保についても責任を負っている。

東日本大震災の経験を踏まえると、救助・救援活動の展開あるいは政府基盤の再建に係る、道路や空港、港湾、電力、石油、ガス等ライフラインの確保が重要となる。また、東日本大震災で行われた啓開作業（きり啓くの意）もあり、発災時の初動対応が死活的に重要になってくる。初動対応を適切に行う為に、平時における備えとして、国をはじめ、関係機関が持つ情報、ノウハウ、技術力、装備等を総動員して協働することが可能となるような実効性の高い実施手順を追求していくことが重要であると考えている。

沖縄には「ゆいまーる」という言葉があるが、県民が安心して暮らし、経済活動を営んでいけるよう、ゆいまーるの心を持って防災連絡会として日頃からの備えを万全なものにしていくことができれば幸いである。

本連絡会の取組みが実り多いものとなるよう祈願し、開会の挨拶とさせていただく。

（2）決定事項

○設立趣旨（案）、運営要領（案）の承認及び会長の選出

以下により、沖縄防災連絡会の設立が承認された。

- ・設立趣旨（案）、運営要領（案）について承認された。
- ・会長には沖縄総合事務局長が選出された。

○連絡会における今後のスケジュール（案）について

以下により、今後のスケジュールについて承認された。

- ・今後、関係機関へのアンケート等により具体的な課題・テーマについて、幹事会において整理を進め、連絡会へ提案する。
- ・連絡会において、課題・テーマを踏まえ進め方について議論する。
- ・平成24年度中のスケジュール（案）について承認された。

（3）主な意見

1) 参加機関に関するご意見

- ・災害対応活動を支えるには、先ず、基幹的ライフラインの機能の迅速な確保を図ることは重要と認識しており、事務局の趣旨説明も理解できるが、被災者救助の観点から消防関係の部署も参加頂いた方が良いのではないか。
- ・物流・運輸に関する検討では陸上物流業者に加えて航空輸送や海上輸送を担う民間事業者も参加頂いた方が良いのではないか。

→ご参加頂く機関については現時点限定的に考える必要は無く、ご意見を踏まえつつ、今後、会の検討を進めていく中で他の機関へのより掛けも検討していくたい。

2) 会の活動内容に関するご意見

- ・迅速な連携体制の構築を図る等について、会として訓練等の実施も考えているのか。
- 今後の取組として、関係機関が連携した訓練等の企画・実施も想定されると考えている。

3) 米軍との関係に関するご意見

- ・津波災害により、港湾、空港、物流施設が被災した場合、代替機能として米軍の施設や資機材等の緊急使用に関する調整も必要と考える。米軍への連絡調整も検討できないか。
- ・参考に沖縄県の状況を紹介する。県地域防災計画には在沖米軍との連携について記載がある。また、県と米軍との連携マニュアルがあり、情報提供、物資や資機材の応援について定めている。11月に行われた、県の広域地震・津波避難訓練では、普天間基地内を避難経路として使用した実績もあり、基地所在の市町村においても米軍との災害時連携の動きが広がりつつある。米軍との連携に関するご意

見があったことは県の防災担当部署にも伝えておく。

→現時点では米軍の参加呼び掛けは行っていない。

今後検討を進めていく中で議論していきたい。

4) 検討テーマに関するご意見

・発災時期を考える必要がある。例えば、夏か冬かで汚水処理等の対応が変わる。

災害対応を検討していく上で、衛生環境等状況が異なるので、それにより、テーマの設定も変化する。また、2次災害の拡大防止に如何に対処するかの検討も重要と考える。

→会での検討を進めていく中で、議論していきたいと考えている。

・被災や応急復旧等の状況等の地図情報について、関係機関が共有して使えるようなマップの作成について取り組んでいきたいと考えている。連絡会の活動の中で関係機関の協力が得られればと考えている。